

第四系は、沖積層からなる。

本地域には上記貫入岩類及びその周辺の上部白亜系中に広範囲に発達するセリサイト化・珪化変質と、上部第三系・第四系以上の地層に発達するカオリン化・珪化変質がある。前者には黄鉄鉱染が、また、後者には褐鉄鉱染が著しい。

岩石地化学異常として、Zn-As 異常が検出された。

上記の各変質帯・鉱化帯及び貫入岩類は、空中磁気の間接強度帯、中波長低異常域及び短波長高異常域が重なる部分の内部若しくは近傍に位置している。

2-20 プトレ南西地域

本地域の地質図をFig. 2-2-88に、模式地質柱状図をFig. 2-2-89にそれぞれ示した。

本地域の地質は、上部白亜系・下部第三系貫入岩類、新第三系、上部新第三系・第四系及び第四系からなる。

上部白亜系・下部第三系貫入岩類は、花崗閃緑岩及び花崗岩からなる。今次調査で測定した両者のK-Ar法年代は、ともに 65 ± 2 Ma(黒雲母)であった。

新第三系は、中新統～鮮新統のイグニブライト(流紋岩質溶結凝灰岩)からなる。

上部新第三系・第四系は、下位より礫岩、イグニブライト(軽石凝灰岩)、玄武岩溶岩が累重し、これら各地層間は不整合関係にある。

第四系は、沖積層からなる。

本地域では上記貫入岩類中に弱いプロピライト化が認められるが、鉱化は認められない。

岩石地化学異常は検出されない。

空中磁気の間接強度帯、中波長高異常域周縁部及び中波長低異常域周縁部の重なる付近に、特有の地質現象は認められない。

2-21 アリカ東地域

本地域の地質図をFig. 2-2-90に、模式地質柱状図をFig. 2-2-91に、鉱徴位置図をFig. 2-2-93に、岩石地化学異常分布図をFig. 2-2-94にそれぞれ示した。

本地域の地質は、上部ジュラ系、下部白亜系、第三系、第四系及び貫入岩からなる。

上部ジュラ系は、頁岩及び大理石からなり、花崗閃緑岩の周囲では角閃石を含むスカルン化が認められる。

下部白亜系は、砂岩からなる。

上部ジュラ系及び下部白亜系は花崗閃緑岩に貫かれる。今次調査で測定した同貫入岩のK-Ar法年代は、初生年代として 66 ± 2 Ma(黒雲母)・ 68 ± 2 Ma(黒雲母)が得られ、また、変質年代として、カオリン化岩の 57.4 ± 2.1 Ma(全岩)、セリサイト化岩の 66 ± 2 Ma(全岩)が得られた。

上部ジュラ系、下部白亜系及び上記貫入岩は第三系により不整合に覆われる。

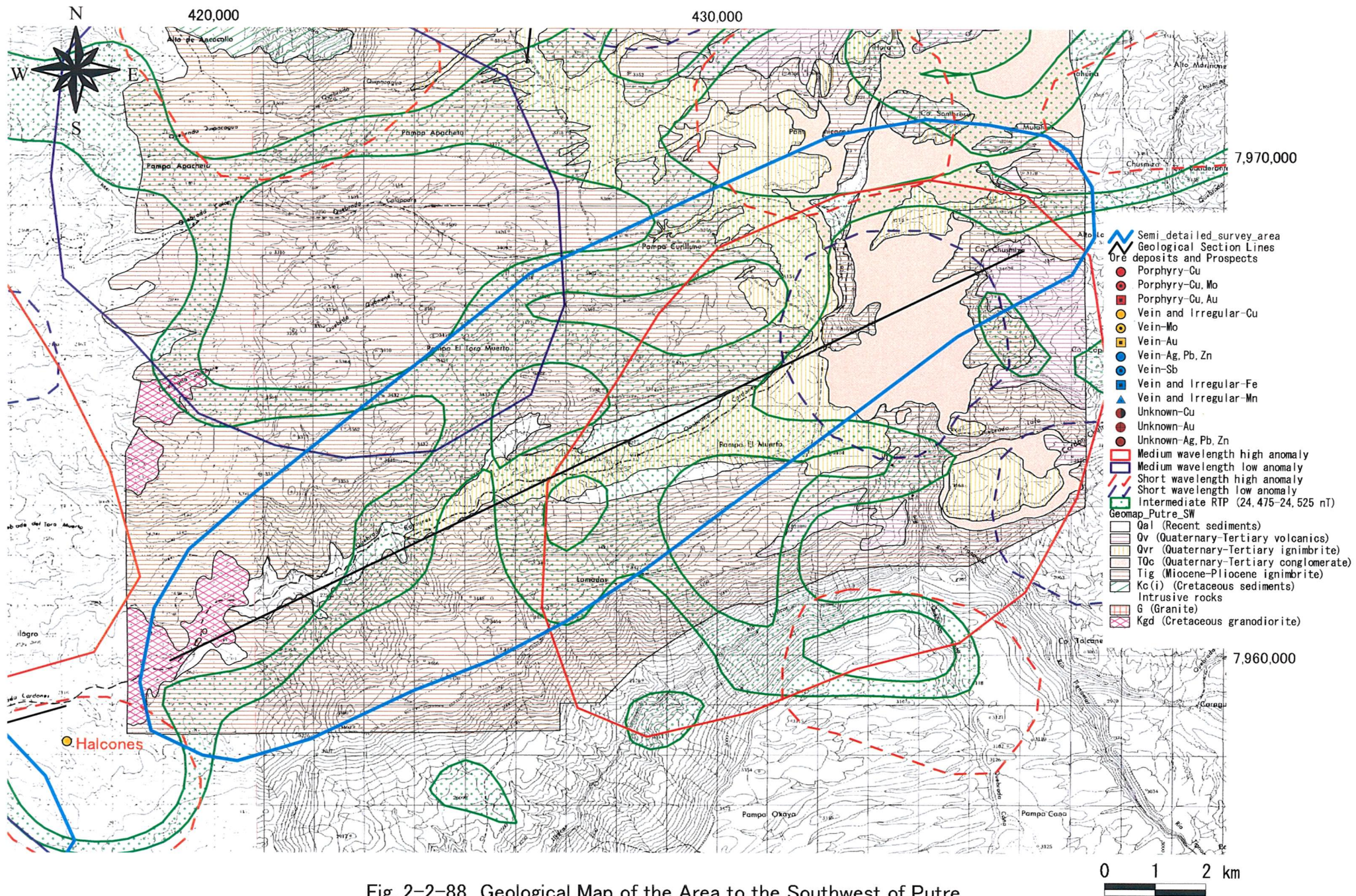


Fig. 2-2-88 Geological Map of the Area to the Southwest of Putre